

子どもたちの笑顔のために 広木小おやじの会奮闘 奉仕活動や学校行事支え

鹿児島市の「広木小
学校おやじの会」は、
毎月の交通誘導ボラン
ティアや、年間10回以
上の校内外の行事を支



子どもたちに話しかけながら焼き鳥を焼く
「おやじの会」メンバー
―鹿児島市広木1丁目の広木小学校

える。「おそろく市内
で最も活動が活発」と
自負する。
会員は自営業や会社
員など30〜50代の男性

約50人。出校日の毎月
第2土曜は学校周辺の
交通誘導に立ち、運動
会の門や正月の門松造
り、卒業生のための餅
つきなどに活躍する。
釣りや芋掘り大会も
主催し、中でも「十五
夜秋祭り」は約500
鹿児島市は10月8日、「公
共交通を活用したまちづく
り」と題した講演会(午後
3時半〜5時)を、同市の
城山ホテル鹿児島島で開く。
講師は、欧州連合(EU)
議会がある国際色豊かな都
市として知られる仏スト
ラブルのローラン・リー
ス市長。LRT(次世代型
路面電車)を活用したまち
づくりで高い評価を受けて
いる。
無料。定員200人(多数
抽選)。ホームページや役
所、各支所などで手に入る

市電活用のまちづくりを

来月8日、先進地・仏市長が講演

チラシで応募する。または、
件名「公共交通を活用した
まちづくり」参加希望、名
前、電話番号、住所、メール
アドレス、団体名を書いて
往復はがきかメールで申し
込む。9月18日締め切り。
無料、18日締め切り
〒892-1867、鹿
児島市山下町11の1、市国
際交流課099(216)
1131、ファクス同(2
24) 8900、メール
ntlaff@city.kagoshima
a1.s.jp

人が来場するメインイ
ベントだ。今年は8日、
広木小で開き、町内会
対抗綱引きでは進行や
審判、応援を担い、汗
だくで盛り上げた。焼
き鳥やかき氷の店も出
し、次々と注文をさば
いた。
そろいで作ったピン
クのポロシャツの背に
「できるときに/で
きることを/こどもた
ちの/えがおのため
に」と刷った。川畑隆
雄会長(41)は「5分
もいいからできる範囲
で参加して、間口を
広げている」と説明。
「先輩たちが盛り上げ
てきたのを受け継いで
今がある。学校の協力
も大きい」と感謝する。
活動はフェイスブック
でこまめに発信し、勧
誘にも役立てる。
男性陣の奮闘ぶり
は、すっかり地域に浸
透している。秋祭りに
4年生の長女と2年生
の長男と訪れた梓しづ
かさ(36)は「いつも
明るく頑張っている姿
は、地域の子ももち

17日の敬老の日を前
に鹿児島県調理師協会
の調理師が12日、鹿児島
市下福元町の特別養
護老人ホーム「美樹園」
を訪れ、黒牛、黒豚、黒
さつま鶏などを使った
豪華料理を入居者ら約
120人に振る舞った
II写真。
8回目の今回は、県
内6社、15人が2日前
から準備。日本一の鹿
児島黒牛を使ったビー
フシチューなど6品を
作った。同園で初めて

敬老の日祝い 黒料理に笑顔 鹿児島調理師協会



にもしつかり伝わり
い影響を与えていると
思う」と話した。
(小手川美子)
連支部(姚佳秀支部
長も発足した。
鹿国大は2000年
の国際化学部の新設
を機に、海外からの留

編集局日誌

2018-9-13

偽県産品を防ぐ

東京支社・江田裕樹

8月に都
で、京都の
パリの中心
のカフェが
のソフトク
に人気にな
海外展開
実は違う。
業で、店員
かどうかも
中国国内
が次々と登
出回ってい
称を無断で
ことはでき
を」という
鹿児島は
い。芋焼酎
中国で商標
てでやっ
の紙面にあ
手当たり次
益を得よう
が現地では
鹿児島と
地名や特産
をはじめ世
態を官民登
県産品の海
はもっと必

